

地域の防災力向上のための取り組みの一環として、新宮市立熊野川中学校で防災授業を行いました。開催は今回で5回目となり、中学生、保護者、地域の方、そして和歌山県と新宮市の職員の方にも参加していただき、総勢約40名の方に参加していただきました。平成23年の紀伊半島大水害時の熊野川中学校周辺の様子などを振り返りながら、水害マップや土砂災害マップなどを確認し、危険箇所の確認や避難のタイミングなどについて紀南河川国道事務所の職員が説明しました。また和歌山県が作成した避難所運営ゲームを行い、実際に避難所を運営する立場になって、避難する際の課題などについて参加者の皆さんで考えました。

- 日時: 令和5年2月25日(土) 13:00～15:00
- 場所: 新宮市立熊野川中学校
- 主催: 紀南河川国道事務所



職員による水害の危険性についての説明

- ・近年の水害について
- ・紀伊半島大水害時の被害状況
- ・普段と水害時の比較
- ・水害・土砂災害マップについて
- ・警戒レベルと避難情報について
- ・防災情報の集め方



位置図

新宮市立熊野川中学校

避難所運営ゲームによる班別討議

- ・高齢者は避難所のどこに配置するといいたらいいだろうか？
- ・体温が高い人にはどんな対応をするべきだろうか？
- ・安否情報はどのように公開すればいいかな？
- ・食料を分けて欲しい人にはどんな対応をしたらいいだろうか？



- テーマ① 受付で聞き取った情報をもとに、避難者名簿を作ろう！
- テーマ② 高齢者の生活スペースを確保しよう！
- テーマ③ 感染症の疑いがある避難者への対応について考えよう！
- テーマ④ 個人情報の取り扱いを考えよう！
- テーマ⑤ 在宅で避難していた方「食料がなくなっちゃった。分けてくれないか。」
- テーマ⑥ 高熱・咳の症状がある方がいます。この方への対策として考えられる意見を出し合ひましょう。

討論した内容発表

高齢者はできるだけ出入り口やトイレに近い場所を確保します。



感染症の疑いのある人は、専用の個室に移動してもらいます。



安否情報等は避難者の同意を得て掲示板に張り出します。

授業を受けた生徒の感想

- ・紀伊半島大水害の時、体育館にどのくらいの水がきたかを知り、水害の怖さについて学んだ。
- ・大雨による水害では、避難のタイミングが大切ということが分かった。
- ・日足地区は大雨により浸水、土砂災害の危険があるので、早めの避難が大切だと思った。
- ・自然災害はいつ起こるか分からないので、避難する場所は家族で話しておくのが大切だと思った。